



[スクリーンショット 2019-04-16 17.00.13](#)

浜松市内の神社と寺と教会を開放して、神職や僧侶、牧師や神父と交流してもらおうという催しが開催された。期間は2月22日から3月31日の一か月余。今年で4回目となる。

「第4回神社・寺・教会カフェ」(神も仏も訪ね求めて:主催NPO法人 楽舎、浜松市文化振興財団「文化サポート事業」助成事業、後援 浜松市)

参加した寺社は、38か所(神社が3、神仏習合が1、真言宗3、浄土宗2、臨済宗7、日蓮宗4、曹洞宗9、カトリック教会1、プロテスタント教会8)。宗教・宗派を超えて行われた。それぞれ寺社・教会で独自の企画を行い、延べ400人が訪ねた。

当日、住職や神職、牧師や神父が来訪者をおもてなして、じっくりと語り合い交流した。

それぞれの企画内容は、個性的で盛りだくさん。神社では、祝詞や神道の作法。寺院では、仏教の実践。団扇太鼓の響きに合わせてお題目を唱える、木魚のリズムで念仏を称える、護摩行、坐禅会、写経。さらには、茶礼、ヨガ、展示会、歴史と地域の語り合いなど。教会では、聖書の学習会、ゴスペルの鑑賞、礼拝。

本来、寺社、教会は地域の拠り所であり、文化センターであり、学びの場であった。豊かな自然が残されている、広大な敷地、なにより長き伝統を継承した歴史がある、そうして生き方、教えがある。

けれども、普段の暮らしでは、寺社や教会などはなかなか訪ねづらい。「敷居が高い」ともいえる。しかし、それではせつかくの聖域がもたない。本来の寺社や教会の魅力を発信して、地域の心の拠り所となってもらおうというのが企画趣旨であった。

問い合わせ先: NPO法人楽舎 TEL053-98-1112 / 080-5412-6370

浜松市北部地区特派員 池谷 啓